

# 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

## 報告書資料 復興支援 - 01

学校名・団体名	八戸市立江南小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	江南ふるさとプロジェクト

### 活動にいたる経緯

本校は今年、震災以来初めての周年行事である創立40周年を迎えた。最盛期には400名を超える児童が通っていた本校であるが、児童数は減少の一途をたどり、保護者の数も激減しPTAの財源も年々減少。そこで御財団の助成金を元に「江南ふるさとプロジェクト」を実施することとした。

### 1. 活動内容

- ア 「江南一人一鉢プロジェクト」 地域の方々との協働により「祝40年」の花文字を制作・管理（通年）  
災害復興の一助として、花壇に新しく土を入れ肥料を施して児童一人一人が大切に花の世話をした。
- イ 講演「いさばのかっちゃん 大好きな江南 大発見だじゃあ！」 講師：十日市秀悦氏（9月3日）  
災害復興の一助として地域のお年寄りと児童が一堂に会し、元気を取り戻すことができた。



- ウ 4学年による総合的な学習「江南自然探検隊」…学校周辺の自然を見直した。（5月～9月）
- エ 5学年による総合的な学習「八戸探検隊」…八戸の良さを再発見し郷土愛を深めた。（11月～12月）
- オ 江南ふるさと記念クリアファイルの作成…児童・保護者・地域住民の集合写真撮影を元に作成（11月）
- カ 講演「児童理解～理解と対応の実際～」講師：立教大学教授 大石幸二氏（5月21日）

### 2. 子ども達への効果

地域の方々と協働で整備した花壇に、児童一人一鉢による「祝40年」の花文字を制作し、年間を通して世話をし、花壇コンクールでは「八戸市議会議長賞」という素晴らしい賞に輝くことができた。講師を招いての2度の講演会や総合的な学習の時間を通して学んだことにより、災害復興へ向けて子ども達はもちろん、家庭・地域の明るい気運を高めることができた。「地域の学校」として親しまれてきた本校の歴史と伝統の価値を再認識し、その伝統を引き継いでいくという意識や愛校心を育むことができた。